

## I. 環境経営方針

株式会社パナ・ケミカルは、資源プラスチックのマテリアルリサイクル処理機の設置販売、ユーザーのもとでその設備によって再資源化されるリサイクルプラスチックの有価買い上げ及びプラスチック加工業などの最終ユーザーに対する良好な再生樹脂の再販という、環境配慮がすすむことを事業とし、持続可能な社会の実現に大きく貢献してきた歴史をもつ。今後は、そのノウハウを普遍的なものとし、より以上の環境保全効果を得るため、以下の環境経営方針を定め、地球環境保全への更なる貢献を目指す。

### <環境経営方針>

プラスチックリサイクルを通じて、日本の環境、リサイクル事情を変える総合商社として常に環境保全に関わる高品質なサービスと製品を提供し続ける。

1. 自らのリサイクル処理機、製品、サービスを顧客に広めることによって資源を節約する。
2. 廃棄物の発生抑制に努め、省エネ、二酸化炭素の排出抑制を行いグリーン調達にもつとめる。
3. 従業員が社外の環境活動に参加することを支援する。
4. 製品、活動、サービスに関連する法規、条例を遵守する。
5. この環境経営方針は全従業員に周知しホームページ及びリーフレット等を通じて公開する。
6. 環境経営の継続的改善に努め、地球環境の保全への更なる貢献を目指す。



2021年3月1日  
株式会社 パナ・ケミカル  
代表取締役 犬飼 健太郎

## II. 主要な環境経営計画の内容

### 環境目標：

1. 事業運営に伴う環境負荷とCO2排出量の低減目標を以下のように設定し、地球温暖化の防止に寄与する。

	削減目標値	主な施策、具体案
①. 電力消費量	>前年比同等維持	>省電力機器の促進（サーバー、エアコン、パソコン）
②. 水道使用量	>前年比同等維持	>水道水節約徹底
③. ガソリン消費	>前年比同等維持	>エコドライブの実施、レンタカーの利用
④. 可燃ごみ	>前年比同等維持	>ゴミ箱の整備（ゴミの分別）、紙ごみ（普通紙）のリサイクル
⑤. 紙（コピー用紙）	>前年比同等維持	>社内・営業ドキュメントのスキャナー・メール・端末活用
⑥. CO2排出量	>前年比同等維持	>電力消費、ガソリンの節約徹底
⑦. グリーン調達	>前年比同等維持	>備品等優先的に購入
⑧. 環境教育	>前年比同等維持	>環境展、自社内覧会への関係者招待と社員参加

### 2. 実施体制

#### <統括者>

代表取締役、経営における課題とチャンスの明確化、環境保全活動の結果確認や環境経営方針を決定する

#### <環境管理責任者>

代表取締役、環境保全活動の結果確認や環境経営方針を決定する

#### <環境事務局>

環境管理責任者からの任命者、計画立案、結果や活動を説明、モニタリング

#### <部門長>

部門長、環境保全活動のプロジェクトメンバーに衆知徹底

#### <推進者>

全社員、環境保全活動を推進



3. 当社は、環境配慮がすすむことを事業としているため、その事業目標を達成することが環境保全への寄与となる。（当社の提案するプラスチックの再資源化技術と、そのシステムを普及させることは、熱源利用などの低位リサイクルに付されている樹脂をマテリアルリサイクルという高位リサイクルの物質循環にて有効利用することを意味する）
  - ・事業目標達成率が、社会のリサイクル率向上に相関するものと考える。
  - ・プラスチックを減容積し、ハンドリング性をあげて収集運搬することは、LCCO2の観点からも有意義と考える。
  - ・そのままの状態では埋め立てられていたプラスチックをリサイクルに廻すことは、逼迫する最終処分場の残余量の確保にも貢献するものと考える。

表II-2. 中長期環境目標（2021年3月1日制定）

項目	単位	変化率	2019年度	2020年度	2021.3.1 制定	
					2021年度	2022年度
電気	kwh	0	19,795	19,795	19,795	19,795
水道	m3	0	261	261	261	261
ガソリン	l	0	7,835	7,835	7,835	7,835
可燃ごみ	kg	0	965	965	965	965
紙	枚	0	125,000	125,000	125,000	125,000
CO2排出量	Kg-CO2	0	27,334	27,334	27,334	27,334
グリーン調達	%	0	70%	70%	70%	70%
環境教育	人数	0	702	702	702	702
内覧会社員のべ参加数	人数	0	78	78	78	78

※CO2排出量に関しては、調整後の排出係数(0.462kg CO2/kwh)とガソリンのCO2排出量を加算したものです。

※リサイクル量は弊社の発泡スチロールAランプ回収量と資源プラスチック回収量を合計したものです。

### Ⅲ. 環境経営の取組結果の評価

表Ⅲ-1. 環境負荷の推移と評価

項目	単位	2019年度実績	2020年度計画	2020年度実績	達成目標	対前年実績	変化率	評価	主な理由
電気	kwh	17,133	19,795	18,772	0	1,639	10%	×	勤務時間増による
水道	m3	232	261	171	0	-61	-26%	◎	在宅勤務導入による出勤者減
ガソリン	L	8,334	7,835	6,071	0	-2,262	-27%	◎	在宅勤務導入による出勤者減
可燃ごみ	kg	1,036	965	753	0	-282	-27%	◎	在宅勤務導入による出勤者減
紙	枚	106,500	125,000	91,500	0	-15,000	-14%	◎	営業書類の電子化
CO2排出量	kg-CO2	19,348	27,334	14,095	0	-5,253	-27%	◎	新型コロナウイルスによる客先訪問延期
グリーン調達	%	85%	70%	82%	0	-3%	-4%	△	備品等優先的に購入
環境教育	人数	879	702	0	0	-879	-100%	×	新型コロナウイルスによるイベント中止
内閣府公表のイベント参加	人数	68	78	0	0	-68	-100%	×	新型コロナウイルスによるイベント中止

評価：○（誤差±1%内で目標達成、原因が明瞭）、△（±5%以内）、X・◎（±5%以上）

<代表者による全体の取り組み状況の評価及び見直しの結果>

前年同様、2020年度は対前年維持をベースに取り組んだ。年間を通して現状維持の項目が多かった、例年と異なることとして、事業環境の大きな変化があげられた、当社は日本の廃棄されているプラスチックを処理機を販売し、お客様に廃プラスチックから高品質な資源プラスチックを製造していただき、それを再度購入し、海外へ販売しているが、一番の販売先である中国が突然、そのような再生資源を輸入禁止したことから大混乱となった。ただ、この数年行っていた資源プラ活動により、自社の取扱品も品質が向上していたため、輸出はスムーズで専門し始め、マスコミに取り上げられ、営業的にも安定している。

<次年度の取り組み>

数値については引き続き、前年数値維持を目標とする。本業の部分での環境負荷削減（リサイクル量、機械販売台数）に集中する。低品質な廃プラが取扱不可となる中、当社は従来通り、高品質な資源プラの取扱いをターゲットとすることで、日本のプラスチックリサイクルの受け皿となる。機械販売についても、上記の流れの中で、ますますメーカーと協力を深めていく。展示会等での「リサイクルビレッジ（機械メーカー等とのコンソーシアム）」も7年目となる中で、より充実した内容を目指すと共に、幅広く集客を図って行きたい。

### Ⅳ. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

現在、違反、訴訟ともなし。

事業運営については、商社であるが、取り扱い品目が、廃棄物由来の再生プラスチックであるため、廃棄物と清掃に関する各法、条例ならびに通達などの国内ルールは言うに及ばず、仕向け地ならびに消費拠点が中国・香港・東南アジア等ということもあり、バーゼル条約ならびに、廃棄物・リサイクル材の輸出に関する各法、条例ならびに通達についても、国内法のみならず受け入れ政府に対しても情報の入手を図り、常に当該ルールの理解と更新・遵守ができる体制を整えている。

弊社は事業を展開するうえで、さまざまな活動をおこなってきた。角箱など発泡スチロール類のリサイクルについては、国内のトップランナーとして、全国に約2000社の顧客を持ち、市場の80%のシェアを持つ。また、廃プラ輸出については、バーゼル条約は勿論のこと、輸出量が飛躍的に伸びている中国向け輸出の健全化を推し進めるべく、関係団体との調整役を役割として認識している。

### Ⅴ. 企業の社会的責任（CSR）への対応

弊社の社会的責任は、とりもなおさず、環境配慮そのものの事業の更なる拡大である。創業以来、培ってきた廃プラマテリアルリサイクルシステムのノウハウを広く普及させ、『燃やさない！埋めない！・・・本当の意味での再資源化をすすめること』に他ならないと考える。この活動は、リサイクル推進協議会会長賞の受賞、ウェステック大賞2006受賞、日刊工業新聞第24回優秀創業者賞受賞やNHK、テレビ東京ワールドビジネスサテライト、日本経済新聞及び経済産業省白書を始め様々なメディアで紹介されている。

### Ⅵ. 会社概要

商号 株式会社 パナ・ケミカル 業種 商社（機械設備販売および樹脂販売）  
 本社 〒168-0074 東京都杉並区上高井戸1-8-3エーム館  
 TEL 03-3302-7531 FAX 03-3306-0096  
 URL <http://www.panachemical.co.jp> E-mail support@panachemical.co.jp  
 設立 昭和51年3月1日 資本金 1000万円 年商 50億円 床面積 162㎡  
 環境責任者 代表取締役 犬飼健太郎  
 会社概要 プラスチックリサイクル原料売買、リサイクル処理機販売、リサイクルコンサルタント



資源プラ  
RESOURCE PLASTIC